

2025年度

枚方市立第四中学校
3年3学期シラバス集

学習進路指導部

1. はじめに

大阪府では、各評価が目標に準拠した評価(絶対評価)で行われています。これに伴い、評価の規準についてもより明確になっています。

2. 通知票及び調査書の評価基準について

各科目(国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・美術・技術家庭・外国語の9教科)について、3観点があります。

各教科それぞれ3観点について、A,B,Cの評価をつけ、その観点別評価【表1】から、教科として5段階評価(5、4、3、2、1)の総合評定【表2】をつけます。

それぞれの評価基準については、次の表に記します。なお、この評価は、枚方市内統一の評価基準となります。

【表1】

観点別評価		目標到達度
A	十分満足できる	75%以上
B	おおむね満足できる	40%以上
C	努力を要する	40%未満

※表1の観点別評価を、A…3点、B…2点、C…1点に換算し、下の表2に当てはめます。

【表2】

総合評定		観点評価合計	目標到達度
5	十分満足できるもののうち、特に程度が高い	9点	85%以上
4	十分満足できる	8点以上	75%以上
3	おおむね満足できる	5点以上	40%以上
2	努力を要する	3点以上	
1	一層努力を要する	3点	20%未満

(「観点評価合計」と「目標到達度」の両方を満たすことが必要になります。)

※表1と表2を総合的に判定しますので、例えば観点別評価「AAA」の生徒であっても、総合評定「5」がつく場合と「4」がつく場合があります。

3. 調査書対象学年について

平成30年度入試以降は入学時よりの成績が対象となっています。

入試	対象学年	比率
平成30年度入試以降 (現1～3年生)	第1学年～第3学年	(第1学年:第2学年:第3学年 =1:1:3)

「絶対評価」とは、学習指導要領に示す目標をどの程度達成できたか、達成状況を見るための評価です。個人の努力がそのまま反映されますので、本校では、各教科シラバスを作成し、授業や提出物、テストなどの生徒の日常の頑張りを評価していきます。

毎回の授業を大切に、毎日の学習にしっかり取り組んで、自分の力をどんどん伸ばして欲しいと思います。

※シラバスは、現時点での予定を示したものです。従って、授業の進捗等により、多少変更する場合があります。

国語【3年3学期】

月	単元	到達目標
1	論説:「私とは何か」	・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について自分の意見をもつ。 ・文章を批判的に読みながら、筆者が述べる「分人」という考え方について考える。
	小説:「坊っちゃん」	・これまでに会った人との関わり方について考えを深める。 ・言葉の使われ方や人物の描かれ方に注意して読み、作品の特徴を評価する。
	「漢字一字」	・日常生活や社会生活の中から題材を決めて、自分の考えを文章にまとめる。
2	「パブリックスピーキング」	・自分の考えがわかりやすく伝わるように、状況に応じて表現を工夫する。 ・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決める。
	情報「情報を関連づける」	・情報の信頼性の確かめ方を理解し、文章を読んで考えを広げ、自分の意見をもつ。 ・互いの発言を生かして話し合い、自分の考えを深める。
3	名言集「中学校生活を振り返って」	・話し合いの仕方を工夫して集めた材料を整理し、考えを広げり深めたりする。 ・表現の仕方を考え、自分の考えがわかりやすく伝わるように工夫する。
観点別学習状況の評価対象と内容		
① 知識・技能 35%		定期テスト・小テスト等
② 思考・判断・表現 30%		定期テスト・小テスト・発表・作文・作品等
③ 主体的に学習に取り組む態度 35%		提出物・ノート・授業態度等

社会【3年2学期】

分野	月	大単元	小単元	到達目標
社 A 公 民	1	第4章 私たちの 暮らしと経済	3 市場経済の仕組みと金融	・現代社会を捉える見方や考え方について、具体的な事例を基にした活動に意欲的に取り組み、これ以降の公民的分野の学習に対する関心を深める。 ・現代社会を捉える見方や考え方の基礎として、対立と合意・効率と公正などの見方や考え方があることに気づき、それらを理解する。
	2		4 財政と国民の福祉	
			5 これからの経済と社会	
		○テスト等：単元テスト なし(卒業テストと兼ねる) 章末レポート(1回) ○提出物：予習プリント 振り返り		
	2 3	終章 より良い社会を目指して (WorldShift) ※社会 B も含む		・持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題に関心を持ち、その解決策を意欲的に探究する。 ・身近な地域の生活や日本の取り組みとの関連性に着目し、地域的な視野と世界的な視点に立って探究を深める。
	○テスト等：WorldShiftの発表(1人3分)			

社 B 公 民	1	第5章 地球社会と 私たち	1 国際社会の仕組み	・国際社会の諸課題やその解決への取り組みについて考察し、過程や結果を適切に表現し、発表や討論などを通して考えを深める。 ・国際社会の現状や諸課題に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択し、的確に読み取ったり、図表などにまとめたりする。 ・世界平和の実現と人類の福祉の増大の観点から、国家相互の主権の尊重、各国民の相互理解と協力の重要性について理解する。
			2 さまざまな国際問題	
			3 これからの地球社会と日本	
		○提出物：予習プリント 授業プリント		
演 習	1 2	入試問題の過去問		過去問に取り組みながら、知識の定着と実践力を養う。
		○提出物：授業で使ったプリント		

※2月中旬以降は、社会 A と合わせて WorldShift を行います。

観点別学習状況の評価対象と内容 ※ 社会 A・B を合算して成績を出します。		
① 知識・技能	(約35%)	単元テスト・小テスト・卒業テスト・予習プリント
② 思考・判断・表現	(約 30%)	単元テスト・単元レポート・卒業テスト・振り返り・授業課題
③ 主体的に取り組む態度	(約 35%)	期末テスト・予習プリント・振り返り・ノート・問題集・探究課題
合計 300点程度		

数学【3年3学期】

月	教材の種類・単元	到達目標
1	7章 三平方の定理 ・三平方の定理 ・平面における線分の長さや面積 ・空間における線分の長さや体積	・三平方の定理の意味を理解できる。 ・三平方の定理を見いだすことができる。 ・三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。
		○単元テスト(知識・理解 思考・判断・表現)・単元レポート
	8章 標本調査とデータの活用 ・標本調査の活用 ・母集団と標本の活用 ・データを活用して、問題を解決しよう	・標本調査の必要性和意味を理解する。 ・標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 ・簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推測し判断することができる。
		○単元テスト(知識・理解 思考・判断・表現)・単元レポート
2 3	演習 ・入試問題の過去問 ・演習	・他府県の過去問を解き、総合的に問題を解く力を身につける。 ・演習により3年間の単元を振り返り、解く力を身につける。
観点別学習状況の評価対象と内容		
① 知識・技能 (約 30%)		定期テスト・単元テスト
② 思考・判断・表現 (約 30%)		定期テスト・単元テスト・単元レポート
③ 主体的に取り組む態度 (約 40%)		単元レポート・提出物・授業態度

理科【3年 3 学期】

	月	大単元	小単元	到達目標
理 科 A	1 月	自然と人間	<ul style="list-style-type: none"> ・自然界のつり合い ・様々な物質の利用と人間 ・科学技術と人間 ・人間と環境 ・持続可能な社会を目指して 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物、動物及び微生物を、栄養摂取の面から相互に関連付けて捉えるとともに、自然界では、これらの生物がつり合いを保って生活していることを理解させる。 ・日常生活や社会では、さまざまな物質が使用目的や用途に応じて使い分けられていることを認識させ、物質を有効利用するためには、物質の再利用などが大切であることに気づかせる。 ・科学技術の発展の過程で様々な科学技術の利用が人間の生活を豊かにしてきたことを認識させる。また最新の科学技術の発展と方向性を考えさせる。 ・身近な自然環境や枚方の自然災害について調べ、人間の活動と自然環境に与える詠唱を理解させる。自然環境を保全することの重要性を認識させるとともに、自然を多面的、総合的にとらえ、自然と人間の華夏アリについて考察させる。 ・自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について考え、持続可能な社会をつくることの重要性を認識させる。
	2 月			
	3 月	3 年間の復習		演習問題を通して理解を深める。
	月	大単元	小単元	到達目標
理 科 B	1 月	運動とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なエネルギーとその移り変わり ・エネルギー資源とその利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの様々なエネルギーについて気づかせ、それらのエネルギーはどのように移り変わるか理解させるとともに、エネルギーの総量は一定に保たれることを理解させる。 ・人間は多様なエネルギー資源を消費して生活していることを知り、将来にわたってエネルギー資源を確保し、安全で有効な利用と環境保全を図ることの重要性を認識させる。
	2 月	演習		演習問題を通してさらに理解を深める。
	3 月	演習		演習問題を通してさらに理解を深める。

観点別学習状況の評価対象と内容			
①	知識・技能	約 33%	単元テスト、期末テスト、授業プリント等
②	思考・判断・表現	約 33%	単元テスト、期末テスト、授業プリント等
③	主体的に学習に取り組む態度	約 33%	授業プリント、提出物、授業態度等

英語【3年 3 学期】

		単元	到達目標
英語	1	Lesson 7 Design for Change	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法過去(if)などを活用して、「もしタイムマシンがあったら」というテーマについて話された文の内容を聞き取ることができる。 ・仮定法過去(I wish…)などを活用してナッジ理論をもとに作られたものについて書かれた文の内容を読み取ることができる。
	○Lesson7 単元テスト ○予習2～3回 ○暗唱テスト2～3回		
	2	Lesson 8 For Our Future	<ul style="list-style-type: none"> ・間接疑問(SVO)などを活用して、1年間の出来事について話された文の内容を聞き取ることができる。 ・間接疑問(SVOO)などを活用して、「なぜ外国語を学ぶのか」という問いについて書かれた文の内容を読み取ることができる。
	○Lesson8 単元テスト ○予習2回 ○暗唱テスト2回		
	<p>知識・技能(35%)…単元テスト、定期テスト</p> <p>思考・判断・表現(35%)…単元テスト、定期テスト、暗唱テスト</p> <p>主体的に学習に取り組む態度(30%)…授業プリント、提出物、予習</p>		

音楽【3年3学期】

分野	単元	到達目標
歌唱	パートの役割や全体の響きを生かして、合わせて歌おう (卒業の歌1月末予定)	・曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌うことができる。 ・曲想を感じ取り、それにふさわしい音楽表現を創意工夫することができる。
器楽	高い音、＃や♭の付く音	・両手の運指やサミングに気を付けながら、吹き方を工夫し、思いや意図をもって演奏することができる。
創作	歌詞の抑揚を生かして、旋律をつくろう (12月から取り組んでいます) プリント、作曲データ提出	・歌詞の抑揚を生かした音楽表現を工夫して旋律をつくる学習に主体的に取り組むことができる。 ・言葉の抑揚や音階の特徴を生かした音楽表現をするために、表したいイメージや意図を持って、音を組み合わせて創作することができる。

観点別学習状況の評価対象と内容	
知識・技能(35%)	実技テスト・創作作品
思考・判断・表現(35%)	実技テスト・創作作品・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度(30%)	ワークシート・忘れ物・授業への取り組み

保健体育【3年 2 学期】

保 健 体 育	単元	到達目標	
	・バスケットボール 1月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをすることができるようになる。 ・自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫する方法について考えたことを、言葉や文章で表現する。 	
	・バレーボール 1月中旬～2月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ポジションの役割に応じたボールの操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして、相手側のコートの中を空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。 	
	・ソフトボール 2月下旬～3月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・バットやボールをうまく操作する力を身に付け、技術練習に自ら取り組むことができる力を養う。ソフトボールのルールを理解し、試合を運営することができる。 	
	・保健 (健康な生活と病気の予防) (文化としてのスポーツの意義) 3学期中に順次実施	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の予防、個人の健康を守る社会の取り組みについて理解する。 ・スポーツが果たす役割について考えることができる。 	
通知票の観点別学習状況の評価対象と内容		①知識・技能 約50% ②思考・判断・表現 約25% ③主体的に学習に取り組む態度 約25% 計100%	技能テスト、小テスト 授業の振り返り、小テスト 単元レポート等 振り返り 出席状況、見学、忘れ物、 授業態度等

美術【3年 3 学期】

月	分野	単元	到達目標
1 月	デザイン	暮らしやすさのデザイン (マグカップのデザイン)	材料や用具の生かし方を考え、創意工夫して表現することができる。
			心地よい美しさと生活を楽しめるデザインの構想を練ったり鑑賞をすることができる。
			作者の意図や表現の工夫を感じ取り、作品のよさを味わうことができる。
2～3 月	絵画	漫画の魅力 (絵本)	構図・効果線等に着目し、表現の効果をとらえ、材料の特性を生かして表現することができる。
			印象的な場面等、構図や背景の効果を考え、構想を練ったり鑑賞をすることができる。
			心に残る場面など、様々な表現に関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。
観点別学習状況の評価対象と内容(合計:135 点)			

技術家庭【3年3学期】

技術分野			
月	分野	単元	到達目標
1	エネルギー変換の技術	電気回路を設計・製作しよう	構想に基づいて設計し、回路図や組立図にまとめることができる。 部品を適切に調節しながら組み立て、制作することができる。
2			
3			
家庭分野			
月	分野	単元	到達目標
1 2 3	家族・家庭と子どもの成長	幼児の生活と遊び	幼児の生活習慣について知り、家族の役割について理解する。 幼児の食事について知り、栄養や安全面を考慮したおやつを調理することができる。
点別学習状況の評価対象と内容 以下の①②③を均等の割合で評価します			
① 知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度			提出物・実習製作品 提出物・実習製作品 授業態度(意欲・提出物など)